

## 国指定重要文化財 平山家住宅

平山家は、樋ノ口村内で名主を務めた旧家です。

中世の館跡に建てられた平山家住宅は、江戸時代中期の建築で、関東地方でも有数の農家住宅として、昭和 46 年に国指定重要文化財に指定されています。入母屋造りの茅葺の大屋根は低く巨大で、60 畳数の土間と 5 つの部屋を有しています。組上げられた湾曲した松材は力強く大屋根を支えています。

